

2 令和6(2024)年度 見附市立見附特別支援学校グランドデザイン

ユネスコスクール

- 障害の有無にかかわらず、互いに理解し合い障害のある子と障害のない子、あるいは地域の人たちが、ふれあい、ともに活動する教育活動を進める。
- 交流及び共同学習を中核としたESDを推進していく。
- ・名木野小学校との活発な日常的な交流。
- ・居住地校交流の充実。

めざす学校の姿

- 『通ってよし 学んでよし 勤めてよしの チーム見特 わが学校』
- 学び合い、高め合う学校
 - 安心で、安全な学校
 - 発信し、つながる学校
 - ふるさと見附を支え、ふるさと見附から支えられる学校

コミュニティ・スクール

- 地域住民及び保護者等の学校運営への参画を進め、学校・地域・保護者等の教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちの実現を図る。
- 学校の積極的な情報提供に基づく「熟議」と「協働」により、学校と地域が元気になる好循環を創り出す。
- 見附市の「共創郷育」の理念を具現化する重要な手段のひとつである。

学校教育目標 地域で豊かに自分らしく生きる

めざす子どもの姿

- 人とかかわることで、自分も友達も大切にできる子ども
- できることやよさを生かし、地域に貢献しようとする子ども
- できることを増やし、自分の役割を最後までやり遂げようとする子ども
- 楽しさを見つけ出し、どんなことにも挑戦しようとする子ども
- 丈夫な体と心をつくっていく子ども

小学部の目標

のびのびと活動し、楽しい学校生活を送ろう

中学部の目標

自分で考え、仲間とともに活動しよう

高等部の目標

地域の中で生活する力、働く力を身に付けよう

指導の重点

一人一人の「できる力」を見つけ、伸ばし、生活に生かす

5つの重点事項

学習指導の充実

- 子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、自分のできることをしっかりと身に付ける授業づくりの追究
- 研修テーマで継続的に実践している「分かって動ける」授業づくりの追究
- 学習集団の中で承認や貢献が得られる授業づくりの追究

生徒指導の充実

- 自分の居場所があり、仲間関係が豊かな学級経営の充実
- 学級や学部など集団の中にとどの子どもにも役割があり、人の役に立てたことに喜びを感じる教育活動の充実
- 障害特性やこれまでの生育歴等といった背景要因を踏まえた生徒指導の充実

地域を教室にした教育活動の推進

- 校内の学びを地域で生かし、その結果が自信につながるような学習活動づくり
- 校外学習を計画する際の施設等、関係者とのコミュニケーションの充実

キャリア教育の充実

- 様々な学習活動の中で、子ども一人一人の「～のようになりたい」「～をやってみたい」という気持ちの育成
- 校内や地域へ貢献する学習活動を通して人の役に立つことをしたいという意欲の育成

地域学校協働活動の推進

- コミュニティ・スクールを活用し、地域の方々からの積極的な教育活動への「参画」と、一緒に活動を実行していく「協働」の推進
- 本校への「参画」と「協働」とを通じた本校への理解啓発と、障害者理解の推進